

# 大麦情報（第3号）

平成30年3月2日  
砺波農林振興センター  
となみ野農業協同組合

予報によると、気温は、高くなり、ほ場の積雪も近々消え、消雪期を迎える予想となっています。砺波市調査ほの消雪期は昨年が3/1、一昨年は3/3でした。今冬は積雪が多くなっていますが、ほ場を確認し、分施ほ場では消雪後直ちに追肥を行いましょう。

## 消雪後の排水対策が重要です！

### 1 排水溝の手直し

<< 点検・手直しのポイント >>

★停滞(たまり)水や、水口からの浸水、排水溝で崩れた箇所は無いかな？

★排水溝と排水口は連結され、排水口は深く掘り下げてあるか？

※排水不良のほ場では、根の活力低下により肥料吸収能力が劣ります。

### 2 「分施」栽培の消雪後追肥の施用

**施用時期：ほ場全体の雪解けを確認後（3月上中旬頃以降）**

**施用量：10a当たり硫安 20kg 以内**

**（10a当たり窒素成分 4kg 以内）**

※ 生育が旺盛なほ場では、倒伏や穂数過多による品質低下を招く恐れがあります。生育が旺盛で土が見えないほ場（茎数 1,200 本/m<sup>2</sup>以上のほ場）は、10a 当たり硫安を 10~15kg 程度に減肥してください。

**LP 大麦 48 号(基肥一発肥料)は、追肥不要です！！**

※平成30年営農日誌P85~88 参照。

問い合わせは、最寄りの JA 支店または、砺波農林振興センターにご相談ください。